

令和5年度第4回我孫子市自殺対策協議会 会議概要

(1) 会議の名称	令和5年度第4回我孫子市自殺対策協議会							
(2) 開催日時	令和6年1月31日(水) 午前10時から午前11時まで							
(3) 開催場所	市役所分館 大会議室							
(4) 出席又は欠席した委員その他会議に出席した者の氏名 (傍聴人を除く) 出：出席 欠：欠席	委 員 (市職員以外)							
	欠	簗下 成子	欠	池森 紀夫	出	尾上 匡史	欠	福島 慎太郎
	出	渡邊 三枝子	出	鈴木 幸子	欠	玉村 公樹	出	柳瀬 玲子
	出	小原 邦子	欠	大島 拓未	出	内山 雅郎		
	事務局出席者							
社会福祉課 (小池課長、津川補佐、高橋)								
(5) 議題	(1) 第2次我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画について (2) その他							
(6) 公開・非公開の別	公開							
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数	0人						
(8) 会議の内容 (概要)								
発言者	内 容							
議題 1 我孫子市の自殺統計について								
小池課長	それでは、議題に入ります。 議題(1)「第2次我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画」について、事務局より説明を願います。							
事務局	12月26日から1月25日まで自殺対策計画案についてパブリックコメントを行い、意見はありませんでした。 今後の予定としては、2月13日に市議会議員への勉強会を行い、その後印刷、製本を行います。計画書の完成は3月下旬を予定しています。計画書の完成後、委員のみなさまに郵送いたします。一年間、計画策定につつまして多くのご意見をいただき、無事第2次自殺対策計画を策定することができました。ありがとうございました。来年度からは第2次我孫子市いのちを支えあう自殺対策計画に基づき我孫子市の自殺対策をさらに進めていきたいと思っております。							

鈴木委員	計画書87ページからの用語解説は、民生委員の活動を行う上で説明したい用語が解説されているので助かっています。もっと解説を拡充してもよかったですと思います。
事務局	第3次の計画を策定する際は用語解説をさらに充実させるよう検討します。
議題2 その他	
小池課長	次に議題（2）その他、について事務局より説明をお願いします。
事務局	令和5年地域における自殺の基礎資料をご覧ください。こちらは厚生労働省が公開している地域における自殺の基礎資料より令和5年1月から12月までの全国、県、近隣市の自殺者数を集計したものとなっています。こちらの自殺者数は暫定値のため、確定した数値につきましては令和6年度自殺対策協議会にて詳細な統計とあわせてみなさまにお示しさせていただきますが、現時点での参考としてご覧いただければと思います。 我孫子市の令和5年の自殺者数は15人となっており、令和4年から3人減少しました。全国、県の自殺者数についても令和4年度と比較して減少しています。 職業別、原因別の内訳につきましては我孫子市の自殺者数が少なく個人が特定される可能性があるため暫定値では公表されていません。今回の自殺対策協議会でお示しさせていただきます。
小池課長	ただいま、事務局から説明がありましたが全国、県、我孫子市ともに男性の自殺者は女性と比較して多くなっています。自殺の原因では健康問題が最も多くなっていますが精神疾患との関係について障害者施設の現状としていかがでしょうか。
柳瀬委員	先日、自殺者数についての記事が新聞に掲載されていました。男性有職者の自殺者数が多くなっており事業の不振が原因と考えられるといった内容でした。一方で小中高生の自殺者数についても高止まりしている、という記事でした。子どもたちが悩みを打ち明ける場が必要であるとともに、教員についてもうつ病など精神疾患が増えていることから職場の環境を整えることが大切だと思います。女性は悩みなどを周りに話しやすい傾向がある反面、男性は悩みや弱い部分を一人で抱え込むことが多く職場や周りの方が気付いてあげるというところでゲートキーパーの役割が重要だと思います。
小池課長	自殺の原因としてうつ病をはじめとした精神疾患が多くなっていますが精神疾患は、もともと発達障害を抱えている方が年を経るにしたがい精神疾患を患うケースも多いと考えられます。発達障害は男性のほうが多い傾向にあるため男性の自殺者数が多い原因の一つになっていると思います。
鈴木委員	自殺対策計画策定における市民アンケートで、相談先として民生委員という回答が少ないことに驚きました。民生委員は相談を受けるとなかなか完結しないことが多いため民生委員に相談するという回答がもっと多いと思っていました。 また、計画書83ページの「自殺総合対策大綱」は字が小さく読みにくいのですが大きくはできなかったのでしょうか。
事務局	「自殺総合対策大綱」は厚生労働省が発出している横長の資料を半分の大きさにして縦に並べているため文字が小さくなってしまっています。大綱については今回の変更点等、自殺対策計画の本文にも記載しているのでそちらでご確認いただければと思います。
小池課長	相談先として民生委員が少ないとのことのご意見でしたが、SNSなど相談先が多様化する中で地域に根差した相談先としてとても重要な役割と考えています。

鈴木委員	SNSの相談について、民生委員は0歳から高齢者を対象にしていますが実際相談活動の中心は高齢者です。そのため高齢者にSNSの相談は難しいと思っていましたが小中学生にはSNSで相談できることは効果的だと思います。
小池課長	中学2年生頃はちょうど精神が不安定になる時期といわれているため市では中学2年生に対しメンタルヘルスについてのリーフレットを配布しました。自分の精神状態を把握し相談先があることを知ることで将来的な精神疾患の予防になると考えられます。当初は中学2年生のみの配布でしたが学校側から中学全学年に配布してほしいと要望があり、全中学生へ配布を行い、さらに現在では小学6年生まで範囲を拡大して配布を行っています。
鈴木委員	リーフレットはどのように配布していますか。また、配布の際には授業等で話をして周知しているのでしょうか。
小池課長	リーフレットは、学校にもよりますが授業の一環としてメンタルヘルスについての説明を行った上で配布を行っています。またリーフレットを持ち帰ることで生徒だけでなく保護者の目にも届き、保護者の方のメンタルヘルスの啓発にもなると考えています。
鈴木委員	認知症サポーターは、中学で授業として時間をとって周知を行っています。そのため生徒にも効果的に啓発ができていると感じています。メンタルヘルスの啓発についてもリーフレットを配布して終わり、ではなく時間をとって説明を行った上で配布してほしいと思います。
小池課長	学校によっては養護教諭がリーフレットを用いて説明を行うこともあります。授業時間の関係上、まとまった時間をとって啓発を行うことが難しい状況もありますができるだけ説明を行ったうえで啓発ができるよう学校に働きかけていきたいと考えています。
鈴木委員	計画書は完成したらどこに配布するのでしょうか。
事務局	庁内各課、市議会議員等に配布します。またホームページに全文を掲載します。
鈴木委員	社会福祉協議会、民生委員協議会にも配布していただけると多くの人の目に留まると思います。
小原委員	県の精神保健福祉センターにも送付いただければ、所内で供覧の上保存します。
事務局	本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 なお、議事録を作成し、皆様にご確認をいただいた後ホームページに掲載させていただきますので、ご了承ください。 本日は、会議にご出席いただきまして、ありがとうございました。 事務局からは以上でございます。
小池課長	それでは、これを持ちまして、令和5年度第4回我孫子市自殺対策協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。
以上	